

～ 県内の企業が連携し、新型コロナウイルス个人防护具を開発 ～

マツダ、石井表記、ジェイ・エム・エス
「フェイスシールド」寄贈式の開催

令和2年5月26日(火) 13:30～ 県庁本館6階講堂

新型コロナウイルスへの感染対策のため、マツダ株式会社（府中町。以下、「マツダ」）、株式会社ジェイ・エム・エス（広島市）、株式会社石井表記（福山市。以下、「石井表記」）とが連携して、医療現場で活用可能なフェイスシールドの供給を開始しました。

このフレームは、マツダ及びその関連会社において感染予防のため活用されるとともに、このたび、本県に対して寄贈いただくこととなり、本日5月26日13:30から県庁講堂において、寄贈式を行いますので、ご取材いただきますようお願いいたします。

1 寄贈式

- 日時 令和2年5月26日(火) 13:30～14:00
- 場所 広島県庁舎 本館6階 講堂
- 寄贈者 マツダ株式会社 特別顧問 西山 雷大（にしやま らいた）
株式会社石井表記 専務取締役 平坂 晋二（ひらさか しんじ）
株式会社ジェイ・エム・エス 執行役員 ホスピタルプロダクツビジネスユニット
推進部長 門廣 秀之（かどひろ ひでゆき）
- 県出席者 広島県 商工労働局長 佐伯 安史（さいき やすし）
- 次第 ①出席者紹介、②寄贈者挨拶（マツダ西山特別顧問）、③贈呈、④謝意、⑤記念撮影

2 寄贈品

フェイスシールド 3,000個

3 寄贈者概要

- フェイスシールドフレーム
マツダ株式会社（安芸郡府中町新地3番1号）
- フレームに装着するシールドフィルム（2社共同で寄贈）
株式会社石井表記（福山市神辺町旭丘5番地）
※ プリント基板製造装置等のメーカーで、今回シールドフィルムを製造
株式会社ジェイ・エム・エス（広島市中区加古町12-17）
※ 医療機器、医薬品製造販売事業者で、上記シールドフィルムの販売協力（配付先からの追加購入等に対応）

4 配付先

広島県内の感染症指定医療機関、帰国者・接触者外来 等

5 寄贈品の特徴

医療現場や自動車の製造現場などさまざまな業務の従事者が、長時間負担なく着用できることを前提に開発されており、自動車のバンパーに使用するポリプロピレン（PP材）を使用し、耐久性とフィット感をもたせている。また、後頭部に位置する部分をゴム等で固定できる仕様を採用し、利用者の好みの装着感に微調整が可能。

さらに、石井表記が生産するシールドフィルムは、細かな作業時にもストレスなく利用できるよう、高い透明度でクリアな視界を確保しています。

資料提供

令和2年5月26日

課名：医工連携推進PT，薬務課

担当者：井上，山口

内線：3351，3223

直通電話：082-513-3351，3223

～ 県内の医療機関と企業が連携し、独自に新型コロナウイルス
感染対策の個人防護具を開発し、製造仕様書も提供 ～

大田記念病院、エイチアールイーからの 「プラスチックガウン・製造仕様書」寄贈式の開催

令和2年5月29日(金)16:00～ 県庁本館6階講堂

医療従事者等の新型コロナウイルスへの感染対策のため、社会医療法人祥和会 脳神経センター大田記念病院(以下「大田記念病院」)が独自に企画開発し、県内の企業・団体・医療機関が連携して製造した個人防護具「袖付き使い捨てプラスチックガウン」1,000枚及びその製造仕様書と「使い捨てプラスチックエプロン及び袖パーツ」1,000組を、5月29日、県庁において、県に寄贈いただくことになりました。

この製品は、全国的に調達が難しくなっている個人防護具について、医療機関である大田記念病院自らが「無いものをは作る」というPPE(※個人防護具)開発プロジェクトを立ち上げ、製品の仕様評価・臨床での使用評価を行い、県内企業の協力を得て製造したものです。

については、次のとおりプラスチックガウン及び製造仕様書とプラスチックエプロンの寄贈式を行いますので、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

なお、寄贈品であるガウンとエプロンは、県内の医療機関で活用させていただくとともに、プラスチックガウンの製造仕様書については、条件を付しての提供を予定しており、今後、多くの企業での展開が期待されます。

広島県は、このような取組に続く、医療現場の需要を迅速に反映した県内企業の新たな事業展開を支援しています。



おおた たいせい
大田 泰正

1 寄贈式

(1) 日時 令和2年5月29日(金) 16:00～16:30

(2) 場所 広島県庁舎 本館6階 講堂

(3) 寄贈者 社会医療法人祥和会 脳神経センター大田記念病院 理事長 大田 泰正
株式会社エイチアールイー 代表取締役社長 堀江 欣二

(4) 県出席者 広島県 商工労働局長 佐伯 安史

(5) 次第 ①出席者紹介、②寄贈者挨拶(大田理事長)、③贈呈、④謝意、⑤記念撮影

2 寄贈品

- 新型コロナウイルス感染予防個人防護具
「袖付き使い捨てプラスチックガウン」 1,000枚
「使い捨てプラスチックエプロン及び袖パーツ」 1,000組
- 「袖付き使い捨てプラスチックガウン」の製造仕様書

3 寄贈者概要

社会医療法人祥和会 脳神経センター大田記念病院(広島県福山市沖野上町三丁目6-28)
株式会社エイチアールイー(東広島市豊栄町清武2924-1) ※自動車シート縫製メーカー。

4 配付先

個人防護具：広島県内の感染症指定医療機関、帰国者・接触者外来等
製造仕様書：ひろしま医療関連産業研究会(※)会員企業

※ひろしま医療関連産業研究会

医療機器等の分野において、県内企業の新たな事業展開を目指した企業間連携・産学官連携による取組を推進することにより、本県医療機器関連産業の活性化と発展に資するとともに、医療福祉の高度化に寄与することを目的とする研究会

参考資料

今回寄贈を受ける製品は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、全国的に調達が難しくなっている個人防護具について、医療機関である大田記念病院自らが「無いものは作る」というPPE（※個人防護具）開発プロジェクトを立ち上げたことを契機として製造されたものです。

一般社団法人福山青年会議所の協力のもと、大田記念病院が新たな商品の開発コーディネートと、仕様評価、臨床での使用評価を行い、県内企業の協力を得て製造しています。

●製品の特長

「ばらのまち福山」にちなみ、ばらをイメージするピンク色の専用ポリエチレンフィルムで製造されている。フィルム製造時に帯電防止加工を施すことで、着用時、脱着時に使用者の身体にまとわりつきを軽減する効果がある。また、ポリエチレン製のため、焼却処分時に塩素ガス等の有毒ガスが出ない。

さらに、新型コロナウイルスは飛沫により感染するとされており、ウイルスは何らかの液体とともに動くことから、大田記念病院の使用評価においては、防水性の確認が行われている。

寄贈品①

個人防護具「袖付き使い捨てプラスチックガウン」

- (1) サイズ：タテ 100cm で、身長 145cm～175cm の方が着用できるフリーサイズ
- (2) 形状：かっぽう着のような背開きタイプ。カフ(袖口)にゴムを内蔵させ、手元からのウイルス侵入を防止する。
- (3) 製造に協力した企業
 - ポリエチレンフィルム供給：梶原化学工業株式会社（福山市千田町一丁目 35-22）
 - 型抜き・縫製：株式会社エイチアールイー（東広島市豊栄町清武 2924-1）
- (4) 販売価格：1着 200円(税別)※100枚単位で注文。
- (5) 生産枚数：初回製造 8,000着。今後、既存の医療材料メーカーが販売するプラスチックガウンの供給が安定するまで、10万着/月を目標に製造を続ける予定。
- (6) 販売・卸：五洋医療器株式会社（広島県福山市明神町二丁目 2-30） 電話 084-926-5050
※販売先は、広島県・岡山県の医療機関・介護施設等に限定。2020年5月11日販売を開始。



寄贈品②

使い捨てプラスチックエプロン及び袖パーツ

- (1) サイズ：タテ 100cm で、身長 145cm～175cm の方が着用できるフリーサイズ
- (2) 形状：肩まで隠れるエプロン。必要に応じて袖パーツを接続して一体型として使用可能。ウイルス侵入を防止しての医療行為・介護行為をアシストする。
- (3) 製造に開発した企業
 - ポリエチレンフィルム供給・製造：梶原化学工業株式会社（福山市千田町一丁目 35-22）
- (4) 販売価格：1着 200円(税別)※100枚単位で注文。
- (5) 生産枚数：初回製造 50,000着。今後、既存の医療材料メーカーが販売するプラスチックエプロンの供給が安定するまで、20万着/月を目標に製造を続ける予定。

- (6) 販売・卸 : 株式会社備後ヘルスケアプランニング (生活彩家 大田記念病院店内)
(広島県福山市沖野上町三丁目 6-28) 電話 : 084-973-6601
※ネット販売及び直接販売で、基本的に販売先に制限なし。2020年5月25日販売開始。



※袖パーツも装着時のイメージ

寄贈品③

「袖付き使い捨てプラスチックガウン」の製造仕様書

本件の問合せ先

- (1) 個人防護具
社会医療法人祥和会 広報コミュニケーショングループ 島津 電話番号 084-975-3909
- (2) 製造仕様書
広島県商工労働局 医工連携推進プロジェクト・チーム 井上 電話番号 082-513-3351

※ご取材いただける場合は、お手数ですが、このFAX返信用紙を、5月28日(木) 15時までに、
ご送信いただきますようお願いいたします。

広島県商工労働局医工連携推進PT行 (担当：井上，三原)

FAX : 082-223-2137

～ 県内の医療機関と企業が連携し、独自に新型コロナウイルス
感染対策の個人防護具を開発し、製造仕様書も提供 ～

**大田記念病院、エイチアールイーからの
「プラスチックガウン・製造仕様書」寄贈式の開催**

日時:5月29日(金) 16:00～16:30

場所:広島県庁舎 本館6階 講堂

貴社名 : _____

ご所属 : _____

お名前 : _____

ご参加人数 : _____

TEL : _____ FAX : _____

当日のご連絡先 : _____

メールアドレス : _____

機材 : スチール ムービー

困み取材の希望の有無 あり なし

個人情報の記入にあたって

ご記入いただきました個人情報は、個人情報保護法の主旨に照らして、適切かつ慎重に取扱います。

資料提供

令和2年5月26日

課名：医工連携推進プロジェクト・チーム
担当者：井上
内線：3351
直通電話：082-513-3351

マスク等個人防護具等開発支援事業費補助金の採択第一号について

～ 備後エリア企業の連携によるサージカルガウンの量産試作 ～

令和2年度4月補正予算で創設した「マスク等個人防護具等開発支援事業費補助金」について、令和2年5月7日から公募を開始しておりましたが、この度、令和2年5月14日付けで申請のありました旭蝶繊維株式会社の案件を本補助金の第一号の採択先として決定いたしました。

この案件は、公益財団法人ひろしま産業振興機構 医工連携推進センターの支援などにより、備後地域の素材メーカー、素材加工業者、縫製業者らが結集して「サージカルガウン」の量産試作を行うものです。

今後も、個人防護具等の安定供給へ向け、県内企業による新規参入を支援してまいります。

1 採択案件の概要

企業名	補助事業の概要	交付決定額	交付決定日
あさひちょうせんい 旭蝶繊維 (株)	サージカルガウンの製品化 〔備後地域の素材メーカー、素材加工業者、縫製業者の連携による MADE IN HIROSHIMA のサージカルガウンの製作〕	577千円	令和2年5月21日

2 採択企業の概要

会社名	旭蝶繊維株式会社
所在地	広島県府中市府川町110
業務内容	ワークウェアの企画・製造販売
資本金	5,300万円
従業員数	140名

3 補助金制度の概要

(1) 目的

本県におけるマスク等個人防護具等の安定的な供給量の確保と医療・健康関連産業の振興を図るため、県内に事業所を有する「ひろしま医療関連産業研究会」の会員企業が行う、マスク等個人防護具等の製品化・事業化のための研究開発等の事業に要する経費の一部を補助することにより、マスク等個人防護具等の製品化・事業化を促進する。

補助率	補助対象経費の10分の10以内
補助限度額	1事業者当たり3,000千円
予算額	30,000千円（令和2年度4月補正）
募集期間	令和2年5月7日（木）公募開始 ※ 申請があったものから随時審査・交付決定し、予算に達し次第、募集終了

(2) 対象事業

次に掲げるマスク等個人防護具等の製品化・事業化のための研究開発等の事業で、交付決定日から令和3年3月31日までに製品の完成・上市が見込まれる事業。

区 分	概 要
サージカルマスク	着用者の呼気に含まれる微生物による患者(他者)への曝露機会と、着用者の潜在的な血液・体液曝露機会を軽減するもの
N95 マスク	空気感染源からの呼吸器感染のリスク軽減を目的として設計、開発された着用者(医療従事者)保護用マスク
ゴーグル(保護メガネ)	メガネ型, ゴーグル型, 使い捨てタイプ等がある。目の粘膜保護を目的としたもの
フェイスシールド	顔全体を覆う透明のシールド。目, 鼻, 口腔粘膜の保護を目的としたもの
防護服	感染現場などウイルスや有害な粉じんなどに対するバリア性を要求される作業時に装着するもの
サージカルガウン	撥水加工, 帯電防止加工等が施された手術用ガウン
アイソレーションガウン	個人防護具として, 形状や耐水性により様々な用途で使い分けて使用するもの
検診用手袋	検査・検診用手袋
サージカル手袋	手術用手袋
手指消毒用アルコール	エタノール, イソプロパノール
上記に掲げるもののほか, 感染症対策に有効な個人防護具等として知事が認めるもの	